

第55回

松山市民俳句大会

第55回松山市民俳句大会が2月11日、子規記念博物館で開催されました。募集句1702句、当日句229句から特選(59句)に選ばれた句のうち、市内の人の句を紹介します。(●は複数の選者に選ばれた句です。〔敬称略〕)

募集句

高岡 周子 特選

大根干す手強き風の
きてゐたり

赤穂 和子(平井町)

抽斗のひとつが開かず
去年今年

高市 光子(東方町)

江崎 紀和子 特選

光るものどこかに着けて
クリスマス

高橋 セツ子(湊町)

病ひとつ持ちたる強さ
冬木立

松田 かをり(高井町)

一遍寺賦算のごとく
いちやう散る

渡辺 美紀子(道後湯之町)

渡邊 狐鷺 特選

小春日やおまけのやうな
河馬の耳

佐々木 真理(余戸東)

●家中の音ききわけて
風邪の妻

堀本 祥子(道後緑台)

木下 節子 特選

●眠らねば喪主つとまらず
夜の雪

松田 かをり(高井町)

猿山に一騒ぎあり
神の留守

河合 寿子(東垣生町)

福谷 俊子 特選

絶筆のA子の肖像
底冷えす

山内 和子(古三津)

横田 青天子 特選

●熱燗やいつもは言はぬ
ありがたう

忽那 早苗(高井町)

海鳴りを聞いて乾きし
干大根

片岡 祥子(緑町)

青木 満子 特選

通りすぐ靴靴靴よ
開戦日

橋 信子(窪野町)

池川 紀子 特選

●眠らねば喪主つとまらず
夜の雪

松田 かをり(高井町)

禅定を解く鐘一打臘八会
稲積 和子(古川北)

梅木 由紀美 特選

鋭角に折れるほかなき
枯蓮

真部 伸(余戸東)

手掴みで鰯売る婆
島の路地

森岡 青潤(余戸東)

岡田 武夫 特選

●冬晴を使ひ切りたる
庭手入れ

門田 貞美(森松町)

榊部 天思 特選

●冬晴を使ひ切りたる
庭手入れ

門田 貞美(森松町)

冬銀河しづくのやうな
赤子抱く

三好 眞喜子(南久米町)

●家中の音ききわけて
風邪の妻

堀本 祥子(道後緑台)

黒田 清宏 特選

●冬晴を使ひ切りたる
庭手入れ

門田 貞美(森松町)

一茶忌や心に沁みる
「まよひ道」

山内 久江(紅葉町)

●熱燗やいつもは言はぬ
ありがたう

忽那 早苗(高井町)

武市 公子 特選

父と居るやうな日だまり
石路の花

石川 典子(祝谷)

豊田 みゆき 特選

沈黙は話のつづき
日向ぼこ

山田 多津子(勝山町)

十三夜こころ素直に
なりにけり

清水 さとみ(磯河内)

二神 利恵 特選

おもひきり赤いマフラー
巻き孤独

三好 喜久子(余戸南)

ひと干しの魚の透けある
弟月

北村 知江(柳原)

弓矢 登志子 特選

明日あると信ず万年青の
実のあをし

高橋 佐和子(清水町)

渡部 洋三 特選

吾亦紅母のほひの
つづれ帯

鶴田 経子(森松町)

霊峰の水を讃へて
寒造

土居 二三子(岩崎町)

当日句

高岡 周子 特選

投稿のペンの蹟く
窓に雪

三好 芙美枝(石風呂町)

江崎 紀和子 特選

海鼠にも思ふ所の
ありぬべし

荻山 玲幸(保免上)

渡邊 狐鷺 特選

お互いを姉さんと呼び
女正月

和泉 厚子(此花町)

木下 節子 特選

春風や一竿はみな
嬰のもの

中矢 利麗(越智)

福谷 俊子 特選

はらからの在らずひやりと
葱の束

原田 マチ子(松末)

佐々木 真理 特選

薄氷や農具確かむ
予定表

久保田 正一(来住町)

林 理恵 特選

身奇麗に生きたる妣の
墓洗ふ

堀本 祥子(道後緑台)

子規記念博物館 ☎ 931
5566・FAX 9343416



約300人が参加した大会の様子